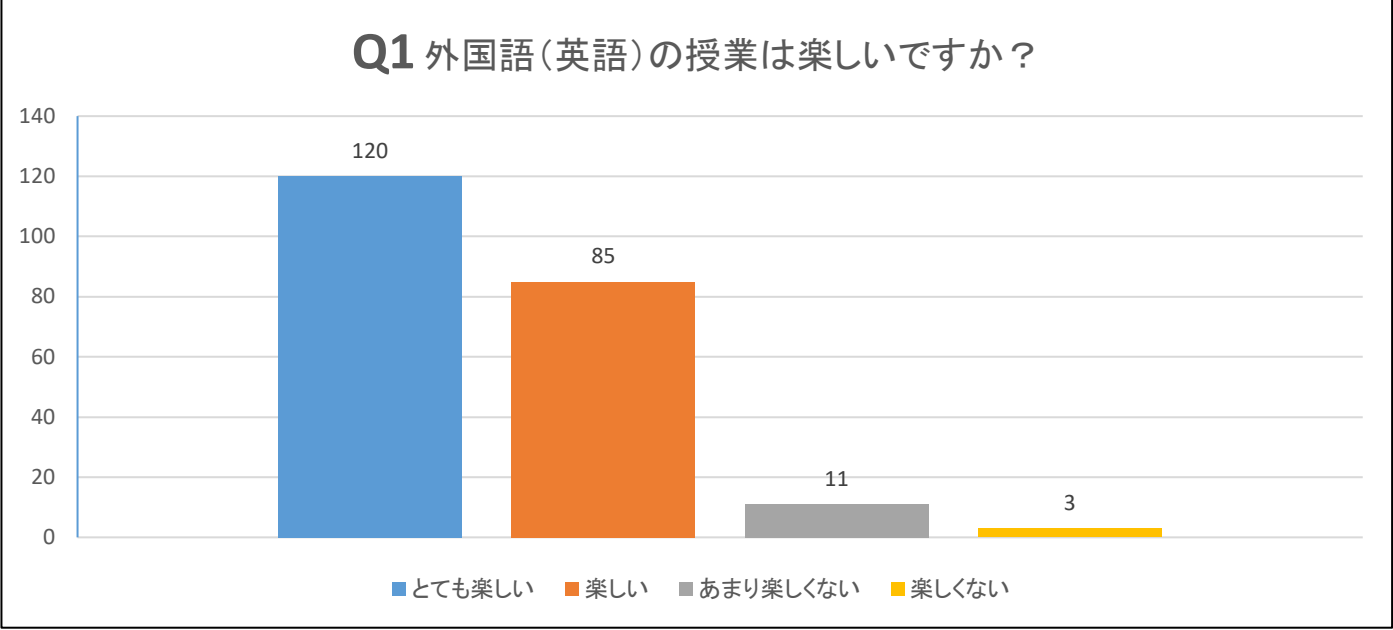
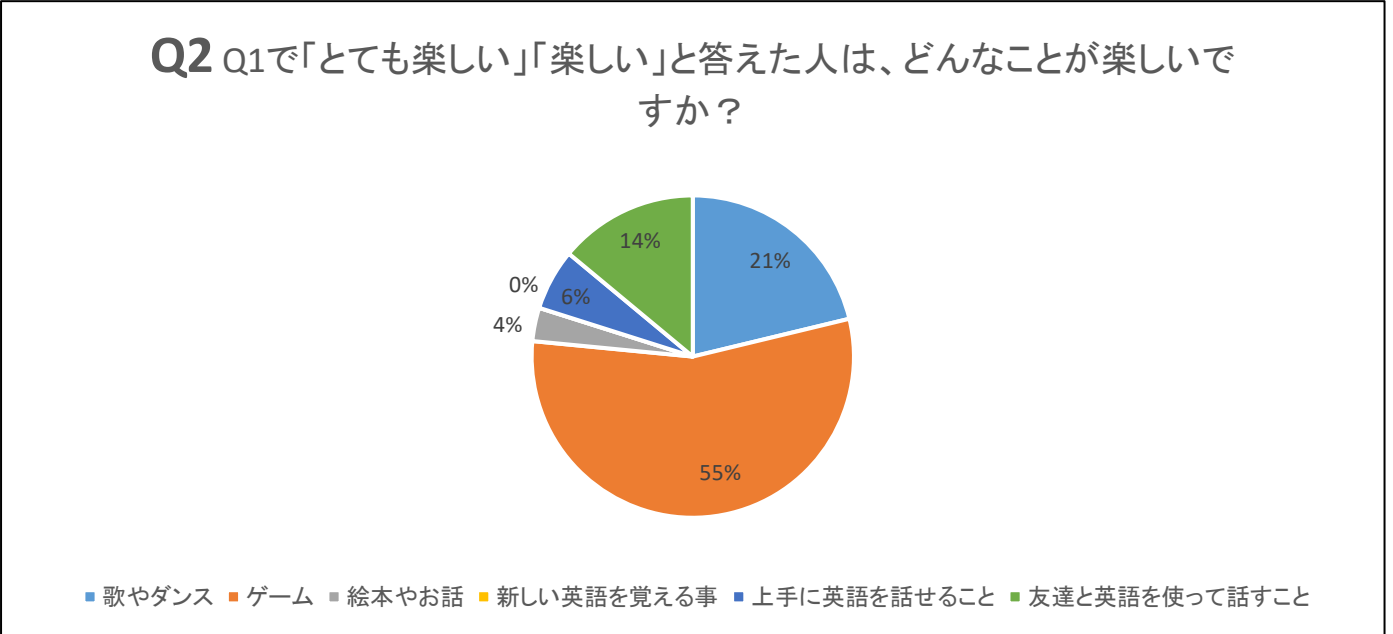


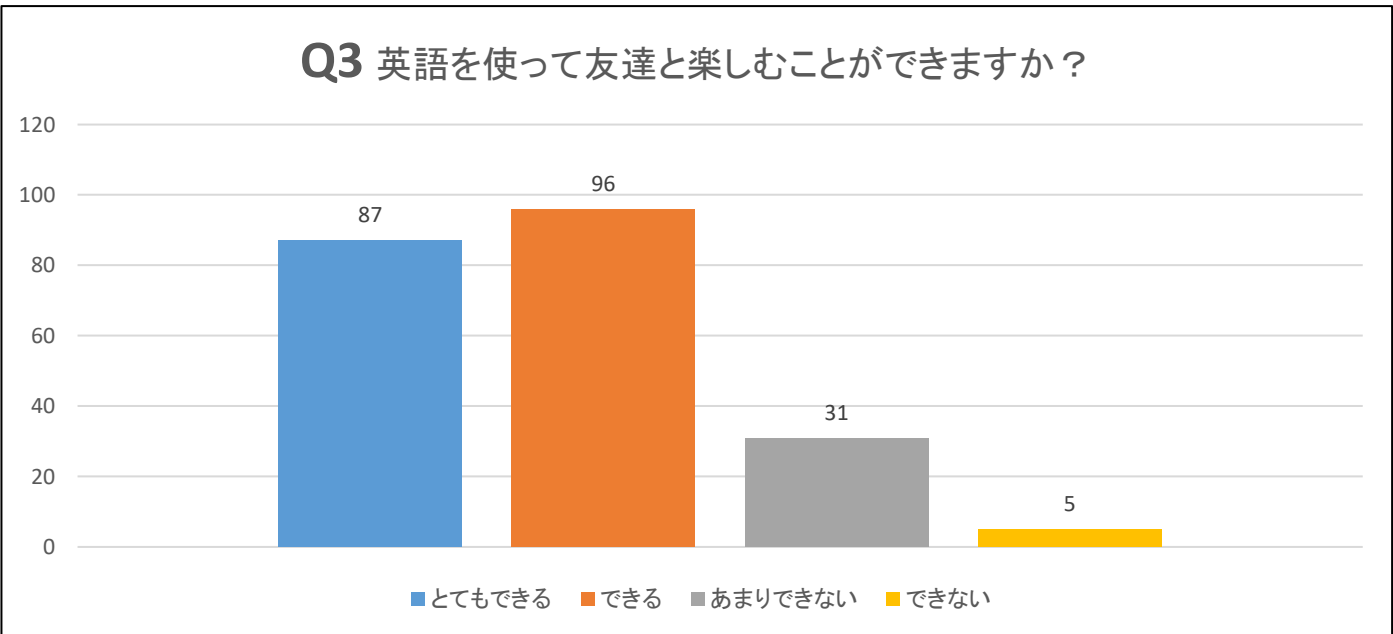
令和4年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(豊川小学校)



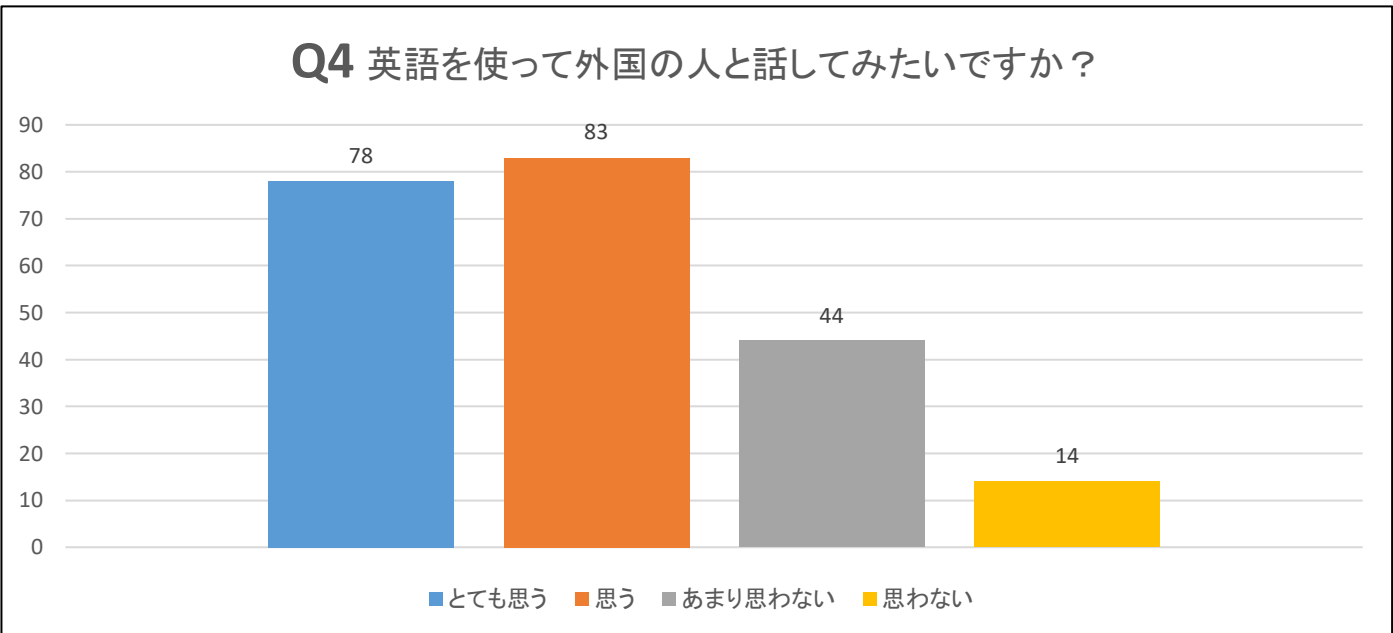
【Q1について】
外国語(英語)の授業に関心を持っている児童が多く、授業が「とても楽しい(54.8%)」「楽しい(38.8%)」と回答している割合が93.6%である。特に、「とても楽しい」と回答した児童の割合が高い。
外国語(英語)の必要性を強く感じる児童が多いことと楽しい授業の実践が児童の関心・意欲を高めているものと思われる。
多くの児童が外国語(英語)の授業は(とても)楽しいと感じている一方で、「あまり楽しくない(5.0%)」「楽しくない(1.4%)」と回答した児童への対応を丁寧に行っていくようにする。大きな要因として、人とコミュニケーションをとることに苦手意識を持っていることがあげられる。



【Q2について】
授業の中で、「とても楽しい」「楽しい」と答えた児童が興味・関心を持つ活動は、外国語活動を通した「ゲーム(55%)」、「歌やダンス(21%)」、「友達と英語を使って話すこと(14%)」が上位を占めている。
これらの活動を通し、言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さが浸透しているものと思われる。
また、英語の音声やリズムなどに慣れ親しみ、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くことで、外国語(英語)学習に対する興味・関心が高まっている。



【Q3について】
英語を使って友達と楽しむことが「とてもできる(39.7%)」「できる(43.8%)」を合わせると83.6%と高い数値を表している。
身近で簡単な事柄について、児童の興味・関心を高めながら外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を楽しみながら高めていくようにしたい。



【Q4について】
「とても思う(35.6%)」「思う(37.9%)」を合わせると73.5%の児童が英語を使って外国の人と話してみたいと回答している。これまでの学習を通して、主体的に外国語を用いコミュニケーションを図ろうとする態度が徐々に身に付いてきているものと思われる。
また、交流を通し、異文化に対する関心が高まっていると考えられる。
「あまり思わない(20.1%)」「思わない(6.4%)」の児童については、言語活動を通してコミュニケーションの楽しさを感じさせるような授業を実践していきたい。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】
1・2年生から英語の学習に取り組む宇城市の取組について、保護者アンケートでは「英語に親しむのは早い方が良いと思っていたので、とても良いことだと思う。」など肯定的な意見で占められた。授業については、「ALTやICTの活用により、楽しく英語に親しむ活動が行われている」「もっと授業数を増やしてほしい」等の意見や要望が見られた。

【考察・今後の展望等】
外国語(英語)の授業に対する児童・保護者・学校関係者の方々の評価や期待は、かなり高いと思われる。
今後は、授業の質をさらに改善し、全ての児童が外国語(英語)を通して楽しみながらコミュニケーションを図ろうとする態度を高めていくようにしたい。